



豆まき 福



節分の由来をご紹介します

令和6年2月3日は節分でした。節分と言えばやっぱり豆まき！緑の郷でも「みんなが健康で幸せに過ごせますように」という願いを込め、豆まきを行いました。



準備体操も忘れずに



年女のご入居者は袴で豆まき



逃げろ～！



鬼は外～！



福は内～！！



鬼が弱ってきました



ついに鬼退治！



緑の郷の鬼は優しいのです。



記念撮影ばっちり☆



鬼さんお疲れさまでした！

日本では古くから、大豆には邪気を祓う穀霊が宿っていると考えられていました。中でも大豆が一番力が強いとか。また、「豆＝魔(ま)を滅(め)する」という意味や「豆を炒る＝魔の目を射(い)る」という語呂合わせから、鬼の目を射って鬼(邪気)を祓うという意味が込められているそうです。(諸説あります)

～お詫びとご報告～

1/15にコロナウイルスに感染された方が確認されて以降、2/16の収束となるまでにご入居者・職員が多数感染し、大規模なクラスターとなる事態となりました。感染対策をしても防衛することが出来ない難しさを改めて感じるとともに、ご入居者の生活にご不便をおかけしたこと、ご家族の皆様にご心配をおかけしたことをお詫び申し上げます。また、この度の豆まきも感染のないフロアのみでの行事となりましたことを併せてご報告いたします。 施設長 石井

甘酒

1月29日にご入居者皆様に「甘酒」
を楽しんでいただきました。



甘酒おいしかったよ



お菓子も食べようかしら

懐かしい味だなあ

毎月かわる手作りケーキ。春メニューもお楽しみに！

3月



【黒ごまケーキ】

実は厨房
イチオシ！

4月



【メープルケーキ】

癖のない味わい

5月



【チーズケーキ】

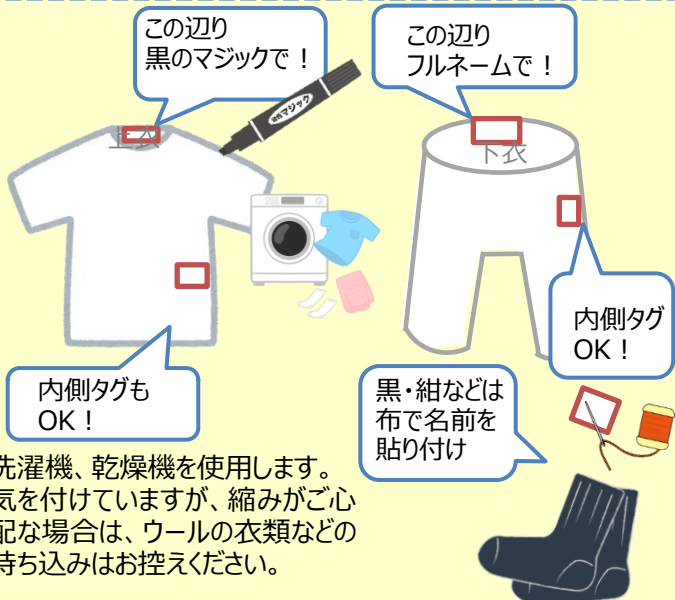
ニューヨークチーズ
ケーキをイメージし
て作りました。

洗濯室より

衣類にお名前
お願いいたします！

緑の郷の洗濯室では毎日 100 名以上の方のお洗濯をしています。一枚ずつお名前を確認しご本人にお戻していますが、時折お名前が見当たらない場合があります。

迷子の衣類がでないよう、ご持参いただく衣類・物品については必ずフルネームで記名、またアイロンテープは洗濯を繰り返すと剥がれてしまうので、四隅を縫い付けてください。ご協力をお願いいたします。



洗濯機、乾燥機を使用します。気を付けていますが、縮みをご心配な場合は、ウールの衣類などの持ち込みはお控えください。



節分ストラックアウト

豆の代わりにお手玉を大きな鬼の顔にぶつけて得点を競って頂きました。



鬼が来て豆まきをしました～！



尺八・ウクレレの演奏ボランティアさんが来てくれました。



★利用者さまとご家族には、今後ご利用前（お迎え時）の検温・マスク着用のお願いと一部活動の自粛について、引き続きご協力とご理解をいただいております。



どこかで春が

♪ どこかで「春」が 生れてる どこかで水が ながれ出す
 どこかで雲雀が 啼いている どこかで芽の出る 音がする
 山の三月 東風吹いて どこかで「春」が うまれてる (詞:百田宗治 曲:草川 信)

3月になるとこの歌を口ずさむことしばしばです。卒園式も終わり小学校入学を心待ちにしていた頃、母が幼稚園の土手で露の臺を摘んできて「フキノトウ味噌を作ろう」と嬉しそうに言うので「・・?」。「とても美味しいのよ!」とのことで期待していたら夕食の小皿に盛られた味噌は苦みのあるもの。母は春の風味にご満悦でしたが、大人の味のわからぬ食べ盛り少年にはしょっぱく苦いだけで「何じゃコリヤ?」でした。冒頭の歌、♪東風吹いて(コ～オチ～イフイテ)のくだり、園児には難解との判断か♪そよかぜ吹いて～と習いました。東風と言えば菅公が太宰権帥へと左遷された際の歌、

東風吹かば匂ひおこせよ梅の花 主なしとて春を忘るな

が思い浮かびますが、東欧や中東では戦禍により、国内では幾多の災害により離郷を余儀なくされた方々の心情とも重なります。春の語源は、万物がハル(発)、草木の芽がハル(張)、晴天が多くなるからハル(晴)、年が明けるからハル(開)・・と諸説ありますが全て前向きなものです。能登半島の棚田に水がく張られ被災者の皆様が一日も早く前向きになれますよう、また元気を失っておられるすべての皆様が明るさを取り戻されるよう祈っています。

* 百田宗治・・1893～1955 詩人・作詞家。戦後、疎開先の札幌で詠まれた児童詩『夕焼け雲の下に』は秀逸。

* 草川 信・・1893～1948 作曲家。他に『夕焼け小焼け』『汽車ぽっぽ』等。

【理事長 田中 實】



緑の郷 会議・委員会のご紹介 ～第3回 向上委員会～

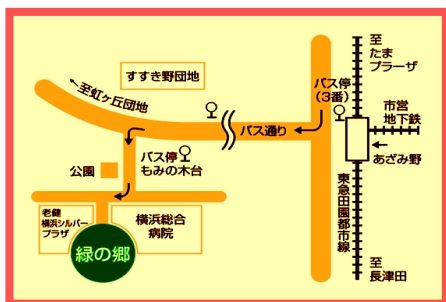
今号では、向上委員会を紹介します。向上委員会では、毎月1回、緑の郷で行っているすべての事業のサービスが良くなるために、各部署の責任者や代表者が集まって話し合いをしております。テーマとしているのは主には、緑の郷で受けた苦情(ご意見)について、どのような内容だったのか、原因は何なのか、今後改善するためにはどのようにしたら良いのかを検討します。当該部署だけではなく、他の部署も交えて考えることで、いただいたご意見を広い視点で分析できています。ご意見は、玄関に設置のご意見箱(写真掲載)や直接、お申し出頂く場合、また、年1回行っているアンケートの結果からお受けしております。

ここ数年、コロナウイルスの影響でご家族の方がスタッフの対応を目にすることが少なく、ご意見は少ない状況でした。今後、行事や面会も増えると思います。その際には、スタッフの意識や技術の向上のためにも忌憚のないご意見をお申し出いただきたいと思っております。



緑の郷ご案内

住所: 千225-0025
 横浜市青葉区鉄町 2075-3
 電話: 045-903-8500



編集後記

3月3日は桃の節句。緑の郷でもお雛様を飾ります。鮮やかな色の衣装と優しい表情の雛人形を見ながら「子供の頃はね…」などご入居者、ご利用者と話はずみです。ところで9月9日の「重陽(ちようよう)の節句」をご存じでしょうか。桃の節句は「子供の健やかな成長を願う」というイメージですが、長陽の節句では「長寿と健康祈願」の意味合いが強く、年配の女性たちが雛人形を飾っていたそうです。長寿社会を迎えた現在の日本で復活しそうな素敵な行事だと思いませんか? 我が家は息子だけで長い間お雛様を飾っていませんでしたが、今年は自分のために飾ってみようかなと思います。

相談係 佐々木

求人情報: 現在、訪問介護ヘルパー、デイサービス・老人ホームの介護職員を募集中です